『たっち』は、みんなの心や輝きへの「タッチ」を通して、「たちかわ」の地域・家庭・学校が手をつないで、生涯を通じた学びを推進したいという思いを込めて付けた名前です。

たっちの発行は年3回です。次号の発行は令和2年2月10日です。

たっち

立川市教育だより

●今号の主な内容

2面 … アール・ブリュット立川～高松からの風～／南砂小学校大規模改修／令和2年度以降に使用の小学校教科書の採択
3面 … 姉妹都市中学生サミット／中学生職場体験協力事業所募集中
4面 … 地域で活躍する団体／立川市の歴史と文化財

編集・発行／立川市教育委員会
〒190-8666　立川市泉町1156-9
☎042(523)2111(市役所代表)
立川市ホームページ
https://www.city.tachikawa.lg.jp/

11.10
第40号
令和元年(2019年)
年3回発行

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて

いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックの開催まで１年を切りました。これまで、子どもたちの夢を育て、スポーツを通じてさまざまなスポーツへの興味・関心の向上はもとよりボランティアマインド、障害者理解、豊かな国際感覚、日本人としての自覚と誇りを育んでまいりました。立川市内において、事前キャンプを行うベラルーシ共和国の給食の提供やオリ・パラ授業、オリ・パラ算数ドリルなどの取組を行ってきました。

問指導課・内線2134

オリ・パラ給食

市内小・中学校ではオリ・パラ教育の一環で、さまざまな国の料理を給食で提供しています。ホストタウンのベラルーシ共和国の料理など、食を通して国際理解を図っています。

ベラルーシ共和国大使と一緒に食事

オリ・パラ授業

新体操競技のオリンピアンである東京女子体育大学の秋山エリカ先生が市内小・中学校で講演と模範演技などの授業を行いました。

小・中学生のオリンピック・パラリンピック競技観戦

市内小・中学校は全校オリンピック・パラリンピック競技を観戦します。

オリ・パラ算数ドリル

オリンピック・パラリンピック競技を題材に算数を学習することのできるドリルが、東京都の小学生全員に配布されており、10月には第三小学校でアルバルク東京の選手が６年生とともに確率の学習をしました。

©ALVARK TOKYO

世界ともだちプロジェクト

市内小・中学校全校で東京2020オリンピック・パラリンピック参加予定国・地域を幅広く学ぶ目的で、総合的な学習の時間をはじめ、教科等の時間において調べ学習等を行っています。

令和2年度以降に市立小学校で使用する教科書を採択しました!

市教育委員会は、８月29日㈭に開催した教育委員会定例会において、令和２年度から令和５年度まで市立小学校で継続使用する教科書を以下のとおり採択しました。

採択に当たっては、校長先生・PTAの方・市民の方を委員とする選定検討委員会や教員を部会員とする調査研究部会を設置し、公平・公正な採択を行いました。

立川市立小学校教科書 採択発行者一覧

種　目	発行者
国　語	光村図書出版 株式会社
書　写	日本文教出版 株式会社
社　会	教育出版 株式会社
地　図	株式会社 帝国書院
算　数	東京書籍 株式会社
理　科	教育出版 株式会社
生　活	学校図書 株式会社
音　楽	株式会社 教育芸術社
図画工作	日本文教出版 株式会社
家　庭	東京書籍 株式会社
保　健	株式会社 光文書院
英　語	光村図書出版 株式会社
道　徳	東京書籍 株式会社

※第4学年の「社会」、第5・第6学年の「地図」、第2学年の「生活」、第2・第4・第6学年の「図画工作」、第6学年の「家庭」、第4・第6学年の「保健」の教科書については、平成31年度以前に給与済みである「採択変更前の発行者の旧版教科書」を令和2年度も引き続き使用します。

問指導課・内線2488

幸学習館 かわせみカフェ

12月15日㈰ 午前10時30分～午後3時

東京学芸大学の学生さんと「世代間交流」をテーマに「かわせみカフェ」を開催します。企画・運営は幸学習館運営協議会。会場では、立川ロケ地マップや世界のクリスマスの展示、クリスマスカードやプラコースター作り、昔遊びや靴下投げなどを行います。親子向けの映画も上映します。カフェは飲み物とポップコーン、いずれも無料です。直接会場へ

昨年度の「かわせみカフェ」の様子

問幸学習館☎(534)3076

アール・ブリュット立川

～高松からの風～

問高松学習館☎(527)0014

アール・ブリュット立川実行委員会との共催で地域の作業所の方たちの作品も含め300点以上の作品を９月４日～16日まで展示しました。

高松図書館では関連図書のミニ展示も実施しました。

展示期間中に実施した事業

■脳性まひのヴァイオリニストを育てて～式町啓子さん講演会～　重い障害に負けずに夢を実現させた体験談を聞きました。息子の水晶さんが東日本大震災の流木で製作された津波ヴァイオリンをサプライズ演奏すると会場は感動で包まれました。「素晴らしいお話で、思わず泣いて、感動で言葉にならないくらいでした」「とても良いお話だったので、小学生くらいの子どもにも聞かせたかったです」といった声が寄せられました。

■わかってほしいオストメイト　オストメイトとは病気や事故などが原因で、手術を受けておなかにストーマ（人工肛門・人工膀胱）をつくった人のことです。

必要な支援等について学びました。

■ワークショップ

❶「自分だけのノートを作ろう」　いろいろな素材の紙を生かしてすてきなノートを作りました。

❷「和紙と親しむ」　和紙を使ったペーパーウエイトを作りました。

■家族のための防災講座～楽しく学んで災害に備えよう！　防災ゲーム、手話コーナーなどで楽しみながら参加できる体験型の防災訓練を実施しました。

参加者からは「気軽に楽しく学べるのに防災についての知識が得られてとてもよかったです。このくらいハードルの低い防災講座はとてもいいですね。」といった声が寄せられました。

下敷きになったカエル君を救出

南砂小学校大規模改修 校舎等をリニューアルしました

南砂小学校の校舎等の大規模改修工事が令和元年８月に完了し、子どもたちは２学期からきれいになった校舎等で学校生活を送っています。

大規模改修工事は、老朽化が進んだ校舎等の長寿命化を図るためのものです。主な改修箇所は、外壁、建具、内装、トイレです。また、エレベーターや多目的トイレを設置しバリアフリー化を図りました。なお、一部の床スラブ（鉄筋コンクリートの床材）が校舎建設時の設計図書に記載された厚さに対して不足していたため、補強工事を行いました。

普通教室や特別教室等は、天井や内装を改修したほか、LED照明を新設しました。既存床は研磨や塗装をするなどしてきれいにしました。

現在、校庭の整地工事等を行っており、令和２年２月末に全ての改修工事が完了する予定です。

問教育総務課・内線2469

バリアフリーの昇降口

改修した普通教室

立川市キャラクター くるりん

姉妹都市中学生交流事業

立川市・大町市姉妹都市　中学生サミット

大町市キャラクター おおまぴょん

7月20日～21日に、立川市の姉妹都市である長野県大町市へ中学生18人が訪問し、「平成31年度第５回立川市・大町市姉妹都市中学生サミット」を開催しました。

このサミットは、平成27年度に開催した第１回サミットで生徒たちが作り上げた「共同宣言」に基づき、両市の交流を深め、その交流の成果を各中学校から地域・市民へ発信していくこと、都市と農村の共存について考えること等を目的として実施しています。

今年は、「あなたがツアーガイド」をテーマに班別で大町市内でしかできないアクティビティを体験し、英語のプレゼン資料作り、ALT（外国語指導助手）との発表練習、成果発表会等を行いました。参加した生徒は、交流を通して、多角的視野をもち、郷土やまちのよさを再発見するとともに、郷土やまちを愛する心を深めることができました。

問指導課・内線2134

教育委員の活動を紹介します

教育委員の令和元年５月から８月までの活動は**下表**の通りです。またその他に道徳授業地区公開講座、各種研修会、運動会等へ参加しています。

活動実績（令和元年５月～８月）

5月10日	立川市立小学校PTA連合会定期総会
5月11日	立川市立中学校PTA連合会定期総会
5月16日	第９回教育委員会定例会
5月17日	東京都市町村教育委員会連合会定期総会
5月30日	第10回教育委員会定例会
6月14日	第11回教育委員会定例会
6月24日	学校訪問（新生小学校）
6月27日	第12回教育委員会定例会
	第１回総合教育会議
7月８日	学校訪問（第四小学校）
7月11日	学校訪問（立川第五中学校）
	ベラルーシ料理給食視察（第九小学校）
	第13回教育委員会定例会
	立川市立小学校PTA連合会と教育委員会との懇談会
7月25日	第14回教育委員会定例会
8月８日	第15回教育委員会定例会
8月29日	第16回教育委員会定例会

問教育総務課・内線2465

中学生の職場体験協力事業所募集中！

市立中学校では、全校で5日間の職場体験を実施しています。これまでにも多数の事業所にご協力をいただき事業を進めてきましたが、生徒を受け入れてくださる事業所が不足しています。中学生の職場体験はキャリア教育として大変意義のある事業と捉え、教育委員会は受け入れ事業所の拡大に努めてきました。

中学生の職場体験に「協力できる」「興味がある」という事業所がございましたら指導課へご連絡ください。事業概要等についてご説明させていただきます。

職場体験の目的と概要

目的

- 仕事を体験することにより、望ましい勤労観や職業観を育む。
- 学校とは違う社会で学ぶことにより、社会性やマナーを身に付ける。
- 職場の方々やお客様、利用者等、多くの方々との関わりを通してコミュニケーション力を高める。

概要

- 中学校２年生が職業体験を５日間実施する。
- 各校３～４人程度の生徒が、午前９時～午後３時を目安として体験する。

※日数、人数、時間等、ご都合に合わせられる場合がございます。お気軽にお問い合わせください。

問指導課・内線2134

立川市役所（〒190-8666）立川市泉町1156-9 ☎(523)2111（代表） Fax(528)1204

「読書の秋」です。地域で活躍する団体をご紹介します。

子どもたちにおはなしや本を届ける活動

市内には、家庭文庫や地域文庫、読書ボランティアのサークルが12団体あります。

各団体は、それぞれの地域で、文庫活動や図書館のおはなし会のサポート、さまざまな施設でのおはなし会を実施しています。

それらの団体のひとつ「立川おはなしボランティア」は、学校や保育園、図書館や、放課後子ども教室などで、昔話の語りや読み聞かせを通して、より多くの子どもたちにおはなしや本の世界の楽しさを知ってもらいたいと24年前から活動しています。昔話には、普遍的な愛や勇気や知恵やユーモアなど、生きる力が浸み込んでいます。子どもたちが、いろいろな国で語り伝えられてきた昔話を耳で聞き、手遊びや言葉遊び、詩の韻などを楽しみながら、言葉の感性を育み、多文化を理解するひとつの機会になればということです。

特に小学校へのおはなし会では、直接子どもたちに図書館の本を届けることで、読書に親しむきっかけを広げようとしています。

問中央図書館 ☎(528)6800

地域ではさまざまな団体がそれぞれの分野で活動しています。市民と行政が協力して生涯学習を進めるしくみである「たちかわ市民交流大学」事業では、市民ボランティア団体「市民推進委員会」と協働で市の講座情報を集約した情報誌「きらり・たちかわ」を、年4回(3月、6月、9月、12月)編集・発行しています。

市施設のほか、モノレール立川北・南駅など一部民間施設でも配架しています。ぜひお手にとってご覧ください。

問生涯学習推進センター ☎(528)6872

通学路の見守りにご協力いただいています

地域のボランティアの方々や保護者をはじめ、警視庁立川警察署、第八方面交通機動隊等多くの皆様により、通学路の見守り活動をしていただいています。児童の登下校の時間帯を中心に、交通量の多い道路や横断歩道等で見守り、パトロール等を実施していただいています。また、毎年実施している通学路合同点検に参加していただき信号のタイミング調整等のハード面、児童への安全指導等に関する学校への助言、不審者情報が多発する地点のパトロール強化等のソフト面からご協力・助言等をいただいています。

子どもたちの安全・安心のため、引き続き皆様のご協力をお願いします。

問学務課・内線2516

立川市の歴史と文化財 40

市指定有形文化財「阿豆佐味天神社本殿」の修復

彫桁下の部材にベンガラを塗る職人

市内に現存する最古の木造建築物である阿豆佐味天神社本殿の大規模な修復が、約2年の歳月をかけ、今年の7月に終わりました。10月には東京文化財ウィーク事業として、本殿の一般公開を行いました。覆殿によって普段は目に触れることがない歴史ある建築物なだけに、参加者は講師の話に耳を傾けながら、木鼻や破風に施された色鮮やかな牡丹や獅子、象、獏、龍などの彫刻や部材に見入っていました。講師が持参した現物の顔料や和釘を前に、質問も多く飛び交いました。

砂川は江戸時代初期における新田開発によってできた村落のひとつですが、その開発にあたったのは、岸村(現在の武蔵村山市岸)など、多くは村山郷(現在の武蔵村山市・瑞穂町の一部)の農民たちでした。砂川にある阿豆佐味天神社は、村山郷殿ヶ谷(現在の瑞穂町殿ケ谷)の阿豆佐味天神社より新田開発とほぼ同時期の寛永6(1629)年に、砂川四番(現在の砂川町4丁目)の地に砂川の村の鎮守として勧請された古社です。現在の本殿は一間社流造、千鳥破風及軒唐破風付、柿葺で、総高約6メートル、桁行約1・8メートル、梁行は約2・8メートルあります。棟札や、木鼻などの絵様や構造的な特徴から、現在の本殿は、宝永5(1708)年に建立したものが、寛保元(1741)年に破損したため、江戸時代中期に修造されたものと考えられていますが、正確な建築年代はいまだ明らかになっていません。

今回の修復では、建物の調査も行いました。これまでも、棟札や古文書などの古記録からたびたび修復が行われていたことは分かっていましたが、今回屋根裏で新たに発見された棟札には、「明治十五年九月」(1882年)の竣工年月と、関わった職人の名前が列記されており、青梅と東京の四谷、本郷の職人を呼んで明治期にも屋根修理が行われたことが判明しました。各部材の彩色にあたっては、化学的な分析が行われ、どのような顔料や染料が使われたのか、彩色の材料や成分の一端が明らかとなりました。壁面のベンガラ(赤色顔料)の彩色は、風蝕の状況から創建した頃に彩色された可能性が高いことも分かりました。その他の部分の彩色時期は判然としませんが、この分析結果と、かつての痕跡に基づき、それぞれの部材に彩色を施しています。また、長い年月を経て傷んだ軒周りなども部分的に修繕しました。

歴史民俗資料館では、12月10日(火)から2月16日(日)まで、写真展「立川の風景と人のいとなみ―未来に伝えたいたからもの―」を開催します。立川市内の風景や、日々の暮らしが垣間見られるような写真のほか、阿豆佐味天神社本殿の修復作業を追った写真を展示します。職人が醸し出す緊迫した空気、真剣な表情などとともに、約300年前の姿に美しく蘇った阿豆佐味天神社本殿を、ぜひご堪能ください。

問歴史民俗資料館(生涯学習推進センター文化財係) ☎(525)0860